

令和4年度事業報告

概 要

令和4年度は8月3日に山形県を襲った線状降水帯による大雨により、飯豊町や長井市で大きな災害が発生しました。特に飯豊町においては家屋の流出、半壊、浸水を始め、県道に架かる大巻橋の崩落、JR米坂線の鉄橋崩落、水田への土砂流入など、数えきれないほどの被害が発生しました。また、冬には降雪量が少なく、例年と異なるような気象状況となりました。

新型コロナウイルス関連では、全国的にも年度前半においてはこれまで最も多い感染者数となり、当センター圏内においても会員や職員などその家族を含めてこれまで最も多い感染者数となりました。

このため、総会は3年連続で文書議決による開催となり、予定していた他市町センターへの研修は中止となりました。一方、当センター内での研修会や講習会は、withコロナの考え方と年度後半に感染が落ち着いてきたことにより、ほぼ予定どおり開催できたところです。特に3月にはこれまでの地区別研修会を3地区合同研修会に変えて開催し、ローズレーン代表黒田美佳さんの講演やエレキバンドの演奏も入り、多くの会員から内容について概ね好評を得られました。

請負事業実績においては、上記のとおりコロナ関連や気象による影響が大きかったため、前年度実績より減少が目立ちました。具体的な職種では、落ち込みが最も大きかった除雪業務のほか、ワクチン接種受付補助業務や福祉施設の日直業務があげられます。一方、新規の受注があった屋内清掃作業や雪囲い撤去などは増加しましたが、全体としては前年度を大きく下回った結果となりました。

派遣事業においても、会員の高齢化や業務の特殊性から就業できない業種があったため件数で2件減少し、実績ではほぼ前年度並みに止まりました。

以上から、請負事業と派遣事業の合計実績においても、前年度を下回る98.6%の結果となりました。

会員増強の取り組みでは、減少傾向に歯止めをかけようと新たに「友人・知人一人紹介運動」を実施し、会員から新たに会員となれる可能性がある人を紹介してもらう運動を展開しましたが、良好な実績にはつながらなかったところです。

当センター活動の基本となっていた第三次中長期計画が令和4年度で終了したため、令和5年度から令和9年度までの5年間の中期計画を策定しました。人口減少や少子高齢化等の流れに対応するべく、現実を見据えた目標設定とその計画の着実な実行、そして目標の実現を目指したものとなっています。

令和5年10月から開始されるインボイス制度への対応においては、当センターとして新たな負担を求められることになるため、配分金や事務費率など全体を見直して令和5年度から適用する職種別の請求金額一覧を作成しました。

そのほか、交流広場「とまり木」の活動も3年目を迎え、会員同士や会員以外の一般市町民との触れ合いも深まりを強くなってきたと思われま

最後に、国や県、長井市、白鷹町、飯豊町の各自治体、諸団体からのご支援、ご協力、県シ連や他センターの皆様のご指導、ご協力により各種事業に取り組むことができました。ここに深く感謝申し上げます。

実施状況

(1) 実績

① 3月末現在の会員数

430人（対前年度 △12人、97.3%）

② 3月末現在の請負事業件数及び金額

5,024件（対前年度 265件、105.6%）

173,451,936円（対前年度 △2,932,640円、98.3%）

③ 3月末現在の派遣事業の件数及び金額

51件（対前年度 △2件、96.2%）

31,846,664円（対前年度 △12,875円、100.0%）

(2) 組織体制の強化

① 諸課題対応のため、三役及び職員等による定期的な打合せを実施しました。

② 事業推進委員会、安全・適正就業審査委員会、女性委員会、第三次中長期計画検証委員会の四委員会に加えて中長期計画策定委員会を立ち上げ、各事業計画を立案し、実践しました。

③ 屋外業務管理専門員及び就業推進員を配置して、技能向上や組織強化とともに就業機会の拡大、ハローワークとの連携強化を図りました。

(3) 会員の拡大

① 毎月定期的な入会説明会及び必要に応じた入会説明会を開催し、入会者の勧誘を図りました。

② シルバー人材センター広報紙の各世帯配布や回覧、ホームページへの仕事内容や入会説明会情報の掲載や更新、おらんだラジオ出演によるセンター活動PRや会員勧誘等を積極的に実施しました。

③ 市町やコミュニティセンター、ハローワーク、関係施設等にポスター貼付やチラシを配置して入会者を募集しました。

④ 会員に対し、「友人・知人一人紹介運動」として、会員に友人・知人1名を紹介してもらい、当センターから入会のご案内を送付して会員数の増強に結び付ける取り組みを実施しました。

⑤ 退会希望の会員に、ゴールド会員への加入を勧める方策を講じました。

(4) 各種研修会の開催及び参加

① 2回の新入会員研修会を開催し、シルバー人材センター会員としての意識向上、会員同士の連携意識高揚を図りました。

② 生活支援に関する研修会を開催し、家事援助スタッフとして就業し続けるため介護保険制度の内容等について理解を深めました。

③ 刈込剪定において、各班のリーダーを集めて知識や技術向上等を図りました。

④ 除草作業において、道具の種類や使用方法について知識向上とともに現場研修を行いました。

⑤ 全シ協主催のweb研修、県シ連主催の研修及び他センター主催の研修に役員や

職員が積極的に参加し、資質向上を図りました。

- ⑥ 3地区合同研修会を開催し、シルバー人材センターが地域で果たしている役割等を再認識するとともに、作業に対する安全意識の向上を図りました。

(5) 各種講習会及び懇談会の充実

- ① 県シ連主催の人材育成事業による家事援助スタッフ講習や、安全就業講習の転倒予防講習に参加し、知識や技能向上を図りました。
- ② 刈込剪定に係る講習として、初心者を対象とした座学及び実技講習会を始め、一般会員には松の基本剪定、キャラボクの剪定、イトヒバの剪定等の講習を実施し、知識や技能向上を図りました。
- ③ 雪囲い作業に係る技能向上及び安全作業の確保を図るため、就業会員を対象に座学及び実技講習を実施しました。
- ④ 除雪機使用による除雪作業に就業する会員を対象に、外部講師による座学及び実技講習を開催しました。
- ⑤ 生活支援会員懇談会として、会員が就業して感じた困りごとや悩みなどを出し合い対策を考える会を定期的で開催しました。
- ⑥ 女性委員会主催による和菓子づくり講習、スマホ操作講習、筆ペン講習、クリスマスリースづくり講習を実施し、各知識や技術の向上、他センターとの交流、会員の融和と親睦を図りました。

(6) 就業事業の拡大

- ① センターにおいて引受可能な作業について、センター広報紙への掲載や請求書にチラシを同封して受注拡大に努めました。
- ② おらんだラジオ出演により、新入会員募集とともに引受可能な作業をPRして受注拡大に努めました。
- ③ 就業推進員を配置してハローワークとの連携を図るとともに、企業等からの情報収集を行いました。

(7) 安全就業の推進

- ① 安全・適正就業審査委員会による安全対策の検討を行い、特に事故が続いた刈払い機作業について作業直前の現場確認と危険箇所確認の徹底を図ることとしました。また、現地巡回による会員の安全意識の向上を図りました。
- ② 職群班毎の技能講習時の安全作業対策講習とともに、刈込剪定職群班では現地巡回指導を行い、安全対策意識の向上に努めました。
- ③ 安全・適正就業審査委員の資質向上を目指し、安全就業に係る研修会や県シ連主催の安全就業推進大会に参加しました。

(8) ボランティア活動及び社会貢献

- ① 長井市あやめ公園の除草、飯豊町どんでん平ゆり園の除草、白鷹町健康広場の草刈り、長井市最上川河川緑地公園の階段除草を実施しました。
- ② 刈込剪定作業の技能講習会を兼ねて、長井市あやめ公園で初心者刈込講習会、長井市立豊田小学校で松の基本剪定、長井市立伊佐沢小学校でキャラボクの剪定、長井市立平野小学校でイトヒバの剪定、白鷹町立東根小学校で秋の刈込剪定を実施しました。また、刈込剪定職群班のリーダーを主とした研修会を2回実施しました。

③雪囲い作業の技能講習を兼ねて、長井市あやめ公園及び長井市立長井小学校の樹木の雪囲い作業を実施しました。

(9) 交流広場「とまり木」の活動

①会員及び一般市町民が交流できる場として、手芸、折り紙、季節の料理、植物愛好会、ウォーキング、健康体操、輪投げの7つのコーナーが定期的な活動を実施しました。